

久山中便り

久山中学校

令和8年5月19日発行

第14号

快晴のもと、誇れる姿

体育会①

16日(土)。快晴。たくさんの方の来賓、保護者の皆さんに見守られる中、体育会を開催しました。

午前9時。開会式が始まりました。

ここでは、ブロック長6名による力強い**選手宣誓**がありました。どのブロックも優勝を目指していますので、ライバル心が伝わってきます。そして、ブロックやクラスの団結を強め、保護者や地域の方に、自分たちが頑張っている姿を披露したいという熱い気持ちのこもった宣言を披露しました。

実は、体育会前日には、ブロック長から通信を通じて、各学級にメッセージがありました。



た。一部紹介します。

・ついに体育会本番が近くなりました。今までの練習の成果を発揮し、優勝しましょう。

そのためには、声が大切です。競技中も応援中も全力で声を出しましょう。私も精一杯、頑張りますので、皆さん、私についてきてください。(A)

・今まで暑くてきつい中、全力で頑張ってきた成果を発揮しましょう。体育会は優勝だけでなく、メリハリの付いているカッコよさや仲間との支え合いができてきているような競技が大切です。また、地域や保護者の方々に成長した姿を見せられるように行動したり、大きな声で応援や返事をしたりする姿を見せましょう。リーダーだけでなく、みんなが周りに声をかけて楽しみましょう。(F)

こんな頼もしいブロック長がいれば、安心して競技に集中できます。その後の競技の質が高まっています。

ラジオ体操。

練習通り、手足がピンと伸びて美しい集団演技となっていました。そして、いよいよ、学年・ブロック競技のスタートです。

一年生全員リレー。

練習よりもバトンパスが明らかに上手で、



振り返らずに受け渡しができるようになっていました。

一つ一つの丁寧な練習がこの結果に結びついていることを感じる事ができました。

二年生大縄跳び。

練習以上に気持ちが入っています。縄を回す側も、跳ぶ側も、大きな声が出ていました。本番で最高記録を出すクラスもあり、表情からは、充実感が漂っていました。

三年生全員リレー。

最高学年ですので、迫力があります。バトンパスもリレーゾーンを上手に使って受け渡しが行われます。スピード感あるリレーは、最終走者まで続きました。前日練習では、3チームが約2秒以内の僅差だったこともあり、本番は本当に白熱していました。三年生の全力疾走に拍手です。

競技は、まだまだ続きました。そんな中、ブロックテントでは、各学年の選手が招集されるたびに、他学年から「頑張ってる」の声や拍手が聞こえてきました。

ブロック長を中心としたブロックの「絆」を強く感じた場面です。

次号に続く…。

